

高橋かずちかの「**打開トーク**」vol.3

高橋かずちかが、東京都の社会的・経済的な「地盤沈下」に対処すべく、中野の現場に着目して「打開」の方向性を探る対談。地域の現場の試みからアイデアを得ていきます。

今回は、東京都の子育て・健康づくり、都政改革の方向性について探るべく、長年スポーツ経営の現場から中野、東京を支えてこられた正村宏人氏との対談を行いました。

高橋：子育て及び高齢者福祉とスポーツは密接な関係がありますね。

正村：そうですね。子育ての基本は「体と心」の健康です。スポーツでの体験や経験を通して、子ども達に様々な学びの機会を与えることができます。また、ご高齢の皆様にとっても健康であることは人生の喜びを感じるために重要です。

高橋：分かります。私も小学校から大学までの陸上競技やスキーマの経験、最後まで頑張りぬく尊さ、チームメイトとのコミュニケーションの大切さを学びました。

正村：スポーツは同時に子ども達に夢を与えます。しかし、現実にはスポーツに魅せられても、それで暮らしていくためには十分なビジネス環境が整っていません。

高橋：優秀な選手を育てるためには明確な目標と将来設計が必要ですね。これはスポーツ以外のことにも共通しそうな視点です。

正村：まさにその通りだと思います。企業経営でも同じことが言えますね。

高橋：東京都のような公的機関でもビジョンや目標がますます重要になっています。都民と職員がビジョン・目標を共有し、納得しながら行政改革を進める必要があります。

正村：高橋さんには、是非、都民の目線、現場の視点から都政を「打開」してほしいと思います。



株式会社 東京アスレチッククラブ
代表取締役社長
正村宏人氏
東京商工会議所中野支部
中野21の会 会長

今回の対談を通じて、子育て・高齢者福祉とスポーツの密接な関係、体験や経験を通じた学びの大切さ、納得できる行政改革の重要性が確認されました。今後の都政改革に現場からの視点を生かしていきたいと思います。